

LEQEMBI® IQLIK™（レカネマブ）は米国の早期アルツハイマー病当事者様とご家族に患者様中心の治療を提供

米国における LEQEMBI® IQLIK™ の価格設定に関するアプローチ

エーザイは、ヒューマン・ヘルスケア（*hhc*）理念のもと、患者様とその家族を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献することをめざしています。本理念は、患者様中心のイノベーションの推進や、患者様サポートプログラムの提供、医薬品の社会的価値と価格設定に関する責任ある決定といった、当社のあらゆる意思決定の指針となっています。LEQEMBI IQLIK の価格設定についても、患者様の治療成果、ケアパートナーへの影響、医療システム全体の効率性を考慮し、公開されている経済分析も踏まえた上で判断をしています。

LEQEMBI IQLIK は、アルツハイマー病（AD）による軽度認知障害（MCI）または軽度認知症（総称して早期AD）の当事者様が、在宅投与で維持療法を可能とする初めてかつ唯一の抗アミロイド療法です。LEQEMBI IQLIK は、18 カ月間の静脈注射（IV）療法を完了した早期AD 当事者様と医療従事者（HCP）に対し、在宅での治療という選択肢を提供します。週 1 回の皮下注オートインジェクター（SC-AI）は約 15 秒で投与可能で、以下のようなベネフィットを提供します。

- LEQEMBI IQLIK は、在宅で快適かつプライバシーを保ちながら投与することができます。また SC-AI により旅先でも投与スケジュールを守ることができ、この進行性の慢性疾患に対する治療を継続することが可能です。
- 維持治療の当事者様が LEQEMBI IQLIK による在宅での維持療法に移行することにより、点滴センターのキャパシティが拡大し、より多くの新規当事者様が初期治療を開始することが可能となります。
- 皮下投与による維持療法により、長期的な疾患管理を支援するとともに、当事者様とケアパートナーのニーズに合った治療提供が可能となり、治療に伴う費用の削減にも寄与します。

LEQEMBI IQLIK の米国承認に関するニュースリリースは[こちら](#)をご覧ください。

米国における社会的・経済的負担¹

現在、米国では 720 万人の 65 歳以上の人々が認知症の最も主要な原因である AD を患っていると推定されています。AD およびその他の認知症の年間の新規当事者数は 2050 年までに倍

増し、AD 当事者数の総数は 1,300 万人に達すると予測されています。AD は米国における死因の第 7 位であり、社会的に最も費用のかかる疾患の一つでもあります。AD は、医療サービス、長期介護、専門的支援の需要を増加させ、医療制度の大きな負担となっており、その経済的影響は、ご家族だけでなく、介護費用、生産性の損失、公衆衛生支出などを通じて広く社会全体に及びます。

- 米国では、医療受診費、検査費、長期介護費、また仕事を減らしたり辞めたりせざるを得ないことによる収入減などによる経済的負担をケアパートナーが抱えることが一般的です。
- 例えば 2024 年には、AD またはその他の認知症当事者様の無償のケアパートナーが、27 州のそれぞれで 50 億ドル以上に相当する介護を提供しました。人口の多いカリフォルニア、テキサス、フロリダ、ニューヨークの 4 州では、それぞれ 220 億ドル以上に及びます。こうした介護負担は、治療にかかる時間や移動の負担を軽減する、在宅投与を可能とするイノベーションの重要性を示しています。

LEQEMBI が米国医療システムにもたらす価値

アルツハイマー協会の報告書「Changing the Trajectory of Alzheimer's Disease : How a Treatment by 2025 Saves Lives and Dollars」によると、AD の進行を遅らせる治療法が存在しない場合には、米国におけるすべての支払者（メディケア、メディケイド、自己負担、その他の支払者）が負担する AD 関連の総費用は、2025 年の 3,400 億ドルから 2050 年には 1.1 兆ドルに増加すると予測されています。² LEQEMBI は、認知機能や日常生活機能の低下といった疾患の進行を遅らせ、当事者様が自分らしい生活をより長く続けることができるよう支援することで、早期 AD 当事者様に意義のあるベネフィットをもたらします。³

LEQEMBI IQLIK は、当事者様中心のイノベーションとして、AD 治療をさらに前進させ、米国医療システムにベネフィットをもたらします。これは、査読付き科学誌 *Neurology and Therapy* に最近掲載された論文に示されています (Societal Costs and Efficiency of Subcutaneous versus Intravenous Lecanemab in Early Alzheimer's Disease: A U.S. Cost Comparison Model)。

本論文の分析によると、LEQEMBI による現在の治療率と LEQEMBI IQLIK の導入を前提とした場合、当事者様は 4 年間で 72,891 ドル～80,925 ドルの費用負担の削減が可能であり、医療システム全体では 31.6 億ドル～37.1 億ドルの費用削減が見込まれています。これは、固定用量のオートインジェクターによる効率的な投与、管理コストの削減、医療従事者・当事者様・ケアパートナーの時間削減によるものです。また、在宅投与の選択肢により、24,102 ドル

ル～32,136 ドルの QOL（生活の質）損失の低減も見込まれています。⁴（論文全文は[こちら](#)をご覧ください）

米国における価格設定

米国における LEQEMBI 360mg IQLIK の卸業社購入価格（WAC：Wholesale Acquisition Cost）は、オートインジェクター1本あたり\$375 に設定されます。WAC は基準価格であり、当事者様が実際に支払う金額ではありません。当事者様の自己負担額は加入されている保険の種類によって異なります。Medicare Part D に加入している当事者様は、現在、年間の薬剤費の自己負担額に 2,000 ドルの上限が設定されており、Medicare 加入者による LEQEMBI IQLIK に対して支払う自己負担額は最大で 2,000 ドルであり、多く場合はそれ以下となります。当社は、幅広い当事者様のアクセスを可能にする一方、医療システムの長期の持続可能性の支援と、皮下投与がもたらす社会的価値に対する評価とのバランスを反映し、価格を設定しました。

当事者様サポートプログラム

エーザイは、適切な当事者様が LEQEMBI にアクセスできるように尽力しています。米国においては、複数のサポートプログラムを提供しています。専任の LEQEMBI Patient Navigators が、治療や保険適用、自己負担額、アクセス支援プログラムに関する情報提供とサポートを行います。LEQEMBI IQLIK を使用される当事者様への投与サポートの提供も行います。さらに、経済的支援を必要とする一部の当事者様に対しては、エーザイの「Patient Assistance Program」を通じて、一定の条件を満たす保険未加入またはメディケア受給者を含め保険が十分に適用されない当事者様に対し「レケンビ」と「LEQEMBI IQLIK」を無償提供します。

レカネマブは、エーザイが開発および薬事申請をグローバルに主導し、エーザイの最終意思決定権のもとで、エーザイとバイオジェン・インクが共同商業化・共同販促を行います。

本件に関するお問い合わせ先

エーザイ株式会社 PR 部

TEL：03-3817-5120

References

1. Alzheimer's Association. (2025). 2025 Alzheimer's disease facts and figures. *Alzheimer's & Dementia*, 21(5). Available at: <https://www.alz.org/getmedia/ef8f48f9-ad36-48ea-87f9-b74034635c1e/alzheimers-facts-and-figures.pdf>. Accessed August 24, 2025.
2. Alzheimer's Association. (2015). Changing the trajectory of Alzheimer's disease: How a treatment by 2025 saves lives and dollars. Alzheimer's Association. <https://www.alz.org/getmedia/318df5d0-b248-421e-a613-6bc384e9c884/changing-the-trajectory-r.pdf>. Accessed August 24, 2025.
3. van Dyck CH, Swanson CJ, Aisen P, Bateman RJ, Chen C, Gee M, Kanekiyo M, Li D, Reyderman L, Cohen S, Froelich L, Katayama S, Sabbagh M, Vellas B, Watson D, Dhadda S, Irizarry M, Kramer LD, Iwatsubo T. Lecanemab in Early Alzheimer's Disease. *N Engl J Med*. 2023 Jan 5;388(1):9-21. <https://doi:10.1056/NEJMoa2212948>. Epub 2022 Nov 29. PMID: 36449413.
4. Tahami Monfared, A.A., Barrows, S., Fox, L. et al. Societal Costs and Efficiency of Subcutaneous versus Intravenous Lecanemab in Early Alzheimer's Disease: A U.S. Cost Comparison Model. *Neurol Ther* (2025). <https://doi.org/10.1007/s40120-025-00790-2>.